

## 2021年度 第1回CSR委員会 議事録

日 時 2021年4月14日(水) 13:30~17:00  
 会 場 Web会議  
 出席者 21名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東京	廣瀬 城児	南関東	丹沢 悟	東中国	○ 山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	○ 三浦 起世光	西中国	青木 道男
北東北	小笠原 裕司	東海	伊藤 準	四国	平岡 佳展
南東北	沓澤 六雄	北陸	宮下 正	九州北	三浦 文義
上信越	桐島 航平	近畿	松田 時典	九州南	植村 敬子
東関東	岩崎 栄	阪神	西川 秀俊		

<担当副会長>横山 健一郎

<事務局>専務理事:野元 敏昭、特命部長:金澤 亨、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○:副委員長

### <委員会での決定事項>

- ・諮問事項を中心に2つのチームに分けてPT方式で推進していく。
- ・PTで決めたことはdirectにアップする(必ずチェックする事)。

## 議 事

### ・挨拶

#### 1. 廣瀬委員長挨拶

- ・先日はお忙しい中、中小企業庁の事業継続力強化計画アンケートに回答いただき感謝します。
- ・今年振返ると1年間一度も有楽町の会議室に集まれず、皆さんと顔を合わせていない状況ではあるが、昨今関西・大阪方面ではコロナの変異株が流行っており、東京も今後流行っていくのではないかとされており、全国的にも集まって何かをするのは難しい状況である。
- ・コロナワクチンがどのようなスケジュールで全員に行き渡るかも見えていないので、これからもWEB会議やdirectに情報を共有して進めていけたらと思っている。
- ・後程2020年度の振り返りと2021年度の活動方針について報告します。今年度は昨年度よりも深化させて積極的な運営に皆さんも携わっていただきたい。

#### 2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に三浦副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

### ・報告事項・情報共有

#### 1. 第8回 理事会報告

事務局より、配布した第8回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・広報委員会から提案された「HP・SNSガイドライン」制定につき承認された。広報委員会からブロック単位での取り組み方法の情宣、広報委員による定期的なパトロール、好事例に関する情報提供する意見があり今後委員会で検討する。

- ・中小企業庁との共同取組みとなる「事業継続力強化計画認定」に関する代協会員アンケートの実施が承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員長より報告があった。

## 2. 臨時総会報告

事務局より、配布した臨時総会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・日本代協 2021 年度(第 58 期)事業計画案が承認された。
- ・2021 年度(58 期)正会員会費額案が承認された。
- ・2021 年度(58 期)収支予算案が承認された。

## 3. 2021 年度事業計画、委員会諮問事項報告

事務局より、臨時総会で承認された 2021 年度事業計画およびについて説明が行われ、以下の補足をした。

CSR 委員会諮問・推進事項は以下の 4 点

- ・防災・減災の具体的取組みの検討・推進
- ・継続活動の効果的展開の検討(地震保険、子ども 110 番、無保険車、サイバーセキュリティ対策)
- ・「ぼうさい探検隊」の積極推進
- ・ハザードマップの情宣と普及・BCP 策定の推進(セミナー企画・策定状況の情報収集)

## 4. 2020 年度第 2 回「活力研」報告

事務局より、2/25 に開催された「活力研」について報告が行われ、以下の補足をした。

- ・今回は、代協会員からの質問事項と回答(コンベンション対応)を踏まえた各社への提言と要望、各社専業代理店手数料ポイント制度・認定制度の概要、オンライン募集・テレワークに関する要望の 3 つのテーマで論議した。日本代協 HP のインフォメーション(会員専用)にも公開済みの議事録を配布した。

## 5. 前回委員会振り返り

廣瀬委員長より、配布した第 4 回 CSR 委員会議事録の内容に沿って振り返りが行われた。

## ・審議事項

### 1. 各ブロック独自活動状況

事前に提出された活動チェックシートに基づき各ブロックより独自活動の報告があった。

(九州南)

- ・昨年度実施できた行事が少なく年度末に向けても進展は無かった。
- ・本年度はハザードマップを活用した勉強会などを行っていきたい。
- ・滋賀県代協の無保険車追放キャンペーンの取組みをブロック内で紹介したので参考に取組んでいく予定。

(九州北)

- ・BCP セミナーなど 1 代協だけで開催するのではなくブロック等で共有したらどうかとの意見が出ている。
- ・CSR 活動について各県の委員で分科会を開き勉強会などを行い各県に下ろしていきたい。
- ・大分独自の活動として 4 月 1 か月間献血活動実施中。
- ・ぼうさい探検隊は各県に早期活動を呼び掛けているので、タブレットをデモンストレーション用に借りたい。

(廣瀬委員長) 損保協会に確認し連絡します。

(四国)

・4/10 徳島代協では全国春の交通安全運動に合わせて、ショッピングモールで損保協会提供の「事故多発場所チラシ」、「反射材」、保険会社提供のノベルティを配布。

(西中国)

・独自の清掃活動は屋外活動であり実施できた。

・今年度のぼうさい探検隊推進は、チラシが早期にできているのでお願いだけでなく、システム作りをするため、広島県 CSR 委員会を開催し、献血活動についても討議する予定である。

・前回報告のあった龍谷大学での取り組みを行っていかうと考えている。

(東中国)

・第 17 回マップコンクールで表彰された「原尾島チーム」代協が支部会に参加し、6 月下旬から 7 月の間でハザードマップの勉強会と絡めて、ぼうさい探検隊を推進していく予定。

・8 月に BCP セミナーをブロック合同で行う予定。

(阪神)

・BCP セミナーは 3 月～5 月に 3 県とも開催(初)するので策定から提案の話し合いを行った。

・3 密になる活動は取りやめになったが、状況改善の際にはスムーズに行えるよう関係者には連絡を継続している。

(近畿)

・2/10 奈良県代協でのサイバーセキュリティセミナーに他代協からも多く参加いただいた。

・5/25 奈良県代協総会後に BCP セミナー開催予定。

・京都代協では滋賀県代協の取組みを参考に仏教大学へアプローチしたがいったん白紙。龍谷大学、立命館大学の京都キャンパスへ提案予定。

(北陸)

・出前講座用の DVD を作成したが、学校とのスケジュール調整がとれなかった。

・ぼうさい探検隊の取組みについて、県独自の記念品の作成、ボーイスカウトへの声掛けを予定している。

(東海)

・交通安全運動取組みは事務局の一部のみ参加(愛知)。

・ぼうさい探検隊の目標達成した三重県は早期の取組みが功奏。各県とも今年度は早期取組みを行う。

・熱田神宮清掃(天候不順で中止)、熱田神宮清掃(人数制限し実施)。

(東京)

・コロナ禍での活動は規模縮小やWEB活用にて実施。

・コロナが収束してもこの流れは続くと考え、業者と業務提携しセミナーの運営・ノウハウを勉強している。

・新たな取組みとして、ヘルプマークの推進を行う予定である。

(南関東)

・神奈川は会議がWEB開催だったので、取組みの徹底推進に苦慮している。

・年度目標はBCPセミナー、サイバーセキュリティ対策の2点を重点取組みとする。

(東関東)

・千葉、栃木で早速ぼうさい探検隊のアプローチを開始している。

(上信越)

・1～3月は献血活動しかできなかった。

・2月に長野でBCPセミナーを開催したが、今後新潟、群馬で行う際に出欠確認やアンケートについてどのように運営したらいいか悩んでいるので教えて欲しい。

(廣瀬委員長)東京代協では、会員にメールを送信し参加希望者は返信してもらいアドレスを取得、後日セミナーURLを案内している(セミナー終了後にはアンケートを自動的に送信)。

(南東北)

・1/25以降コロナ影響で活動中止。

・ぼうさい探検隊取組みに関して、各県の委員長にツールを配布し早期取組みを依頼した。

・奈良のサイバーセキュリティセミナーに参加させていただき、とても勉強になった。

・交通安全取組みとして交通安全期間に合わせて青パトロールを実施(沓澤委員)。

・この機会に防災グッズ(特に発電機)購入を検討中。

(北東北)

・ぼうさい探検隊取組みについて、保険会社社員にも声掛け予定、教育委員会、社会福祉事業団には継続案内。

・出前講座の目標に届かなかったので今年は各支部で講師を1名育成し近隣高校に派遣することで目標達成を目指す(岩手)。ブロックにも共有している。

(北海道)

・4支部でタオル寄贈を実施(室蘭 1,200本、旭川 200本、千歳 200本、帯広 325本)。

・2/12 BCPセミナー開催。

・5月に無保険車追放キャンペーンを各支部で検討し開催予定。

(廣瀬委員長)

・BCPの見直しを行い折り畳みヘルメット購入、発電機購入、防災グッズの入れ替えを行った。

## 2. 2020年度振り返り、2021年度活動方針

廣瀬委員長から2020年度振り返りと2021年度活動方針の説明があった。

「防災・減災の具体的取組の検討・推進」

・「ハザードマップ活用基本ガイド」を作成し、国交省のハザードマップポータルサイトで入手できる「重ねるハザードマップ」「わがまちハザードマップ」の活用を推進してきた。

・今年度はさらに、県・支部単位で勉強会を開催し、ハザードマップ浸透を図る。

「ぼうさい探検隊の積極推進」

・子供の防災意識・防災知識の向上、災害時の適切な行動など基本的な取組みの意義を浸透させることに重点を置いて取組んだ。

・少人数・家族単位での参加を推奨しタブレット活用も推奨した結果、138団体、243マップを提出した。

・昨年度の活動を通して、タブレットの表彰基準や操作方法等の要望を損保協会に提出した。

・三冠王の項目の一つであり、応募数を気にするところもあるが基本的な主旨を理解して推進していただきたい。

「BCPの推進」

・2020年度と2021年度の2年間かけて全国での策定セミナーを開催する予定であったが、コロナの影響で出遅れ、また、本来であればワークショップ形式での策定を考えていたがWEBでのセミナーとなった。

- ・昨年度実施できなかった地域は早めにスケジューリングして欲しい。
  - ・BCP は策定するだけでなく、避難訓練等を重ね見直しをすることも重要である。
- 「サイバーセキュリティ対策の推進」
- ・オリンピックイヤーでありサイバー攻撃が急増することが予想されていたので、各警察と連携をしてセミナー開催を計画したが、思うように進まなかった。
  - ・代理店として個人情報を扱うので、損保クラウドの導入やサイバー保険への加入を推進した。
- 「自主取組事項」
- ・安全対策をとって開催していただき感謝する。

#### 「2021 年度活動方針」

- ・今年の諮問事項は 4 点あるが、委員会メンバーが山田副委員長と三浦副委員長をリーダーにした 2 つのチームに (PT) に分かれ、各 2 つの諮問事項について、深く掘り下げ議論していただきたいと思っている。
  - ・昨年まで 4 回開催していた委員会の間に PT 会議を追加し、PT での討議内容を次回委員会や direct で共有し取組みを強化したい。
  - ・成果の進捗を課題毎に日本地図を色分けして見える化したい。
- (A チーム) 山田副委員長、池田委員、沓澤委員、岩崎委員、伊藤委員、松田委員、青木委員、三浦委員  
 (B チーム) 三浦副委員長、小笠原委員、桐島委員、丹沢委員、宮下委員、西川委員、平岡委員、植村委員
- ・チームには分けるが担当以外のことはやらないという事ではなく、最終的には全員がブロックを牽引して欲しい。

事務局より諮問事項に合わせて改定した活動チェックシートの記入方法について説明があった。

### 3. ぼうさい探検隊の取組み

(山田副委員長より)

昨年はGWから十分な活動が出来なかったと思うが、今年も状況は変わっていない。このような状況で今年度どのように行っていくか意見を出してほしい。

(主な意見)

- ・昨年同様の動きになると思う(細かく声掛けしていく)。
- ・タブレットを活用し一日で仕上げる、そのための事前準備を大人が行うことを工夫したい。
- ・県を跨いで隣県でCSR委員長が勉強会を実施したところ意識が高まり、自県での取組みが強化されたので今年も行いたい。
- ・「原尾島チーム」から継続して参加することにより、子どもたちの防災に対する意識が高まったとのアドバイスをいただいた。支部内で勉強会を開催してもらおう。
- ・親と子供のコミュニケーション強化として地域を回る、親は子供の通学路の危険を改めて知るきっかけになったので、多くの人に声掛けする。
- ・福岡代協のチラシを参考に家族単位での取組みを推進していく(早期に取組む)。
- ・保険会社社員に依頼(夏休みの小学校の課題にもなる)。
- ・応募勸奨スクリプトを活用する。
- ・小学校は昨年に引き続き厳しいと思うが案内だけは行う(次回以降のため)。
- ・ボーイスカウトへの声掛けを行っていく。

- ・小学校の児童クラブへ継続的に声掛けしていく。
  - ・前年にマップを提出した代協経由以外の団体にアプローチする。
- 事務局より第 18 回マップコンクールの実施要項について説明があった。
- ・参加申し込み時に応募のきっかけ欄「代協」と記入してもらう事を徹底。
  - ・2020 年 11 月 5 日～2021 年 11 月 4 日までに作成したマップ(締切 11/4 必着)が審査対象。
  - ・審査概要は 11 賞 22 作品を表彰する(内タブレットはデジタルマップ賞 5 作品)。

#### 4. 防災・減災の具体的な取組み(ハザードマップ活用討議)

ハザードマップ活用の勉強会開催についての予定、意見を集約した。

(主な意見)

- ・「ぼうさいクラブ」の会員とCSR委員を対象に勉強会実施予定。
- ・勉強会にあたり、各県のCSR委員長に日本代協事務局からレクチャーしていただき、そこから下ろしていかないか。

具体的な推進についてはPTで討議するので意見をまとめておくこととなった。

#### 5. 防災・減災の具体的な取組み(BCP策定)

(三浦副委員長より)

- ・最終的な目的は消費者・お客さまにBCP策定の意識を持って頂くことだが、そのためには我々がしっかり整備していないと提案できないという事はご承知の通りである。
- ・セミナー未開催の代協(ブロック)で開催にあたってネックはあるか聞きたい(WEB環境等)。

(主な意見)

- ・会員のBCP策定の確認方法(アンケートの出し方等)や目標未達の際の推進についてどうやって行くかを今後PTで検討していきたい。

(野元専務より補足)

- ・順調にセミナー開催は進んでおり、日程調整している段階である。
- ・なぜ、今になってBCPなのか、東日本大震災から 10 年経過して東日本大震災の一番大きな教訓は代理店が、速やかに業務を立ち上げて、いかに早くお客さまに保険金を届けるかが重要であることであったはずだが、その代理店のBCP策定がこんなにも遅れていることに大きな問題がある。
- ・皆さんの役割はお客さまである企業へBCPの策定を提案していかなければいけないというのが、次の段階にあるので自社が出来ていなければお客さまに話もできないという事になる。
- ・保険会社が用意しているBCPひな型は重厚長大なので実際機能しないという事が分かっているので、日本代協として簡易版のガイドを提供している。
- ・10 年経っているので本来であれば全会員が策定済でなければおかしい、東日本大震災がなんの教訓にもなっていないという事に強い危機感を持つべきである。
- ・ネット環境については各代協に費用負担を行っており、足りない場合は追加支援することを事業計画にも定めている。できれば開催ホストは各代協でお願いしたい。
- ・BCPは策定するだけでなく訓練・見直しが必要である。「訓練ヒント集」を提供しているので情宣して欲しい。
- ・事業継続力強化計画認定制度について中企庁と連携して行っているが、代理店に対する期待度が非常に大きく損保協会経由で各保険会社に対して同内容のアンケート依頼している。
- ・また、事業継続力強化計画認定申請はBCP策定に繋げるためのエントリーロールモデルである。でも、代

理店の皆さんはそのステップを踏んでいる時間がないのでBCP策定を日本代協としては先に進めた。日本代協版のBCP策定を作れば事業継続力強化計画認定制度はとれる。申請書の策定サポートも行っているので活用願う。

## 6. サイバーセキュリティ対策の進め方

(三浦副委員長より)

- ・消費者の方に情勢を訴えて、我々が保険を販売しながら進めていく。そのためには体制を整えなければならない、勉強会を行うという事である。
- ・本紙資料に各都道府県のサイバーセキュリティ対応窓口があるので、参考にして欲しい。
- ・地域によっては協力的であるところとないところがあるので、保険会社の商品部等に依頼しても良いのではないか。

(野元専務より)

- ・開催単位は各県警に問い合わせないと協力度合(準備度合)に差があるので判断できないが、ブロック単位での開催は難しいと思う。
- ・国からは徹底指示が出ているので比較的受けてくれやすいと思う(損保協会でも受けている)。
- ・エモテットに関して、完全制圧(ウクライナ警察により)された。

今後PTで進捗状況、情報共有していく。

## その他・閉会

### 1. 情報共有

事務局より下記情報共有があった。

- ・生保の手数料の在り方について当局は問題意識を持っている。背景には営業職員の大量採用・大量脱退の問題、第一生命の巨額不祥事件に端を発している。明治安田生命では本年度から営業職員の給料を固定給に変えるという大変大きな改革を行っており、過度なインセンティブについては各社大幅に見直しをしている。
- ・4/27に金融庁と各代協会長との意見交換会を実施する。金融庁保険課長が来会していただき、各会長から現場の様々な課題・悩みなど会員の皆さまから届いている声を紹介してもらう場となっている。

### 2. 本日の到達点の確認、次回以降日程確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。
- ・次回以降の年間スケジュールを確認した。

### 3. 横山副会長所感

- ・長時間お疲れさまでした。
- ・昨年の今日新メンバーで初のCSR委員会が開催されました。あれから一年が経ったが、この委員会はもとより代協の諸活動においてもWEB開催となっている。
- ・日本代協には企画環境委員会をはじめ5つの常設委員会があるが、その中でもCSR委員会が取組むテーマは実際の行動が伴う活動が多く、WEB上で情報共有して事足りるものではほとんどない。
- ・ぼうさい探検隊マップコンクールへの参画、子ども110番の保険代理店の推進、サイバーセキュリティ対策の推進、無保険車追放運動そしてBCPの策定支援セミナー実施だけでなく訓練・見直しいずれの事業も一般市民との交流無くしては活動・推進はできないテーマばかりである。
- ・本日は、理事会、臨時総会、全国会長懇談会や活力研の報告を頂きながら、各ブロックの独自活動を委

員から報告をもらった。委員長からは 2020 年度の振り返りと 2021 年度の活動方針につき審議頂いた。

- ・各事業の取組みは、山田副委員長から、ぼうさい探検隊の取組み、ハザードマップを活用した防災・減災の具体的取組みについて審議を進めていただいた。まだまだコロナ禍での取組みで工夫が必要で大変なことではあるが、是非皆さんでの活動・推進をお願いしたい。
- ・また、三浦副委員長からは、BCP策定の観点で防災・減災の取組み、サイバーセキュリティ対策の進め方について審議を進めていただいた。途中野元専務からBCP策定について、しっかり実施することは非常に大切だという事を伝えてもらった。是非各ブロックにおいてもしっかり推進することはお客さまのためであるが、まずは自分のところから進めることが大事である。
- ・何れも保険契約者を災害や災難から守るために、しっかり提案していく必要のある重要な案件ばかりである。それだけでなく、非常事態の時に速やかに事業を再開・継続するために代理店自らが備えておく必要がある。
- ・今回二人の副委員長をリーダーとしたPT会議が新設されたが、かなり活動の充実が図れるものと期待しているのでしっかりと推進していただきたい。
- ・自助・共助・公助とあるが、自助に対する提案はもとより、地域住民の福祉の充実には豊かに暮らせる作りや行政や公的機関の各種サービスに関する正しい情報を提供していく、つまり共助や公助に対ししっかり情報を提供し、地域と一体になって取組むことが求められている。
- ・一代理店の規模ではなかなかできない取組ではあるが、志を同じくした仲間が力を合わせることで物事は確実に前進する。この一年間、異常な事態の中であってやってこれた事、出来なかった事を各ブロック協議会で検証していただき、これを糧として将来の活動に繋げていただきたい。
- ・最後になりますが、忙しい中会議に参加してくれた委員の皆さま、委員会の運営にご尽力いただいた事務局の皆さまに改めて感謝申し上げるとともに 2021 年度のCSR委員会を更に充実した活動として大きな成果を上げられることをお祈りして所感とする。本日はご苦労様でした。

以上

次回開催日 2021年5月19日(水) 15:00~17:00(PT)

2012年6月25日(金) 13:30~17:00(第2回委員会)